

研究テーマ「平和・人権教育と国際連帯の広がりをめざして」

I 研究の内容

1 研究の方法

- (1) 部員各自の実践の報告
- (2) 情報交換，情報提供による学習
- (3) 授業提案による研究（統一授業研）

2 研究経過

5月 8日	テーマ，研究内容決定
5月15日	研究計画，春季教研環流報告
6月 5日	実践報告，授業案検討
8月 5日	授業案検討 臨地研修「山梨県立博物館」（笛吹市）
8月30日	研究授業
10月 2日	実践報告
11月27日	実践報告，県教研環流報告
1月15日	実践報告，授業案検討
2月 5日	研究授業
2月12日	全国研環流報告，研究のまとめ

II 成果と課題

1 成果

- ・県教研で視点や方法など認められ，質の高い授業研究ができた。
- ・多方面（人権・異文化・吃音指導など）から実践発表があり，幅広い分野での知識を得ることができ，日々の実践に生かすことができた。
- ・県立博物館での臨地研修によって，教師としての引き出しの数が増えた。
- ・部会の研究テーマに沿って，理論研究や研究実践を進めることができた。
- ・国際理解教育と平和教育の両方に深く関わっている授業研究であったが，その根幹をなすものとして，人権教育があることが確認できたように思う。
- ・子ども達には，広い視野に立って「知る」ことの重要性が授業研究を通して，確認できたのではないかと思う。さらに，そこから「考える」こと，そして，「行動すること」ができたなら素晴らしいことになると思う。
- ・学年や教科・領域の違いにより，様々な授業実践があることを具体的に知る・学ぶことができとても有意義な研究となった。

- ・ 2つの研究授業を通して、話し合いを深め学ぶことができた。

2 課題

- ・ 県教研への参加体制について、本部会からレポートを2本出していることや、複数部会が関わっていることなど本部と検討していった方がよいのではないかと思う。
- ・ 研究テーマを絞らなかつたが、絞っていく方法も検討の余地があると思う。

III 成果物

1 指導演

- ・ 2年学級活動授業案「せかいのこどもたち」雨宮和美（山梨小）
◇ねらい：世界の子ども達のことを知り、自分たちの今の生活の平和や豊かさを思うとともに、さらに、自分たちに何ができるか考える。
- ・ 6年道徳学習指導演「人権について考えてみよう」田辺博幸（祝小）
◇ねらい：誰に対しても差別する心や偏見をもつことなく、公正・公平の大切さを自覚し、よりよい社会の実現（人権を守る・大切にする）に努めようとする心情や態度を育てる。

2 実践報告資料

- ・ 人権教育実践「なんていったらいいのかな」 檜垣 貴子（塩山北小）
- ・ 平和教育実践「よっちゃんのビー玉」 山宮 由紀（日下部小）
- ・ 人権教育実践「だいじょうぶ ごめんね」 保坂 千恵子（井尻小）
- ・ 人権教育実践「公害から人権を考える実践」 三森 公仁（塩山南小）
- ・ 国際連帯実践「世界へのドアを開いてみよう」 高添 勉（菱山小）
- ・ 人権教育実践「じぶんの中の宝物」 甘利志賀峰（塩山南小）
- ・ 人権教育実践「「吃音」指導について」 武井 由美（山梨小）
- ・ 国際連帯実践「外国籍児童の転入に関わって」 中村 勝（加納岩小）

3 提供資料

- ・ 人権教育資料「「ともに生きる」ってどういうこと？」
「子どもの権利条約をみんなのものに」 甘利志賀峰（塩山南小）
- ・ 平和教育資料「平和への願い 6.23 沖縄 慰霊の日」
～「命どう宝」（ぬちどうたから）～
～島唄について～
- ・ 人権教育資料「人権を阻害する四つの敵」 樋口美根夫（八幡小）

（部長 山宮由紀）